

新聞の歴史ゾーンが 充実します

2019年
4月2日(火)
新・展示室
オープン

歴史と現代から学ぶ情報と新聞

ニューspark（日本新聞博物館）は、日刊新聞発祥の地・横浜に2000年に開館しました。現代の情報社会について学べる展示を加えた2016年のリニューアルを経て、19年4月、さらに歴史展示ゾーンを拡充いたします。資料の点数も増え、新聞の歴史を分かりやすく伝える展示に変わります。

歴史と現代の両面から、確かな情報の大切さと新聞の役割を学ぶことができます。さらに充実した学びの場に、ぜひお越しください。

 ニューspark
日本新聞博物館

みなとみらい線・日本大通り駅直結 

〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター
電話：045-661-2040 FAX：045-661-2029

詳しい情報は
WEBで！

ニューspark

検索

<https://newspark.jp/newspark/>



新・常設展示室

3つのゾーンで構成されています

わたしたちが暮らす情報社会の姿や、その中で確かな情報を届けるために日々努力している新聞の役割と新聞記者の仕事を紹介します。

4月2日から
ウェブサイトも一新します

明治時代に誕生した日本の新聞は、百数十年にわたり、人々にいち早くニュースを伝え、政治や社会のあり方を問い続けてきました。所蔵資料 20 万点の中から、新聞の創刊号や新聞製作機材など約 200 点を紹介し、新聞があゆんできた道のりをたどります。



新聞がどうやって作られ、届けられているかを紹介しています。タブレット端末を使った取材体験ゲームや新聞配達ゲームなどの体験型展示で、楽しみながら新聞の魅力に触れることができます。



ニュースパーク（日本新聞博物館）は、学習指導要領とNIE（Newspaper in Education、教育に新聞を）の取り組みを念頭に置きながら、教育との連携に力を入れています。学校の校外学習から地域の団体まで、子供も大人も楽しめる新聞を活用したプログラムやイベントなどを実施しています。



体験プログラム

個人向け

▶ マイ新聞づくり

製作工房では、いつでもオリジナル新聞づくりを体験できます。

- ◆ 事前予約は不要
- ◆ 所要時間は約20分
- ◆ 写真はその場で撮影します



団体向け

3つのプログラムをご用意し、校外学習などで多くの学校に活用されています。

▶ パソコンで新聞づくり

パソコンを使ってオリジナル新聞をつくるプログラムです。初心者でも簡単に取り組むことができます。

▶ 新聞レクチャー

記者出身の新聞製作マネージャーが文章の書き方や新聞の読み方、情報産業としての新聞について教えます。

▶ 取材クルーズ

記者になって、ニュースパークを取材する「対話型」プログラムです。学習テーマに合わせてワークシートを選べます。

- ◆ いずれも事前予約制です。詳しい内容はお問い合わせください。
- ◆ 所要時間はそれぞれ約 60 分です。

● ニュースパーク（日本新聞博物館）ご利用案内 ●

■ 入館料

一般	400 円	※20人以上の団体は100円引きとなります。事前に電話でご予約ください。 ※障がい者手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料です。 ※校外学習の引率の先生方は、学生・生徒・児童と同じ料金で入館いただけます。
大学生	300 円	
高校生	200 円	
中学生以下	無料	

■ 開館時間

10:00～17:00（入館は16:30まで）

■ 休館日

月曜日・12/29～1/4（月曜日が祝日・振替休日の場合は次の平日）
※詳しいご案内は、ニュースパークの公式サイトをご覧ください。

■ 交通アクセス

- みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口（情文センター口）直結
 - JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
 - 横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
 - 観光スポット周遊バス・あかいくつ「日本大通り」下車 正面
 - 首都高速「横浜公園出口」から 約3分
- ※横浜情報文化センター駐車場・日本大通り地下駐車場をご利用ください。

